

臨床心理学科リフレクション入試 課題説明

臨床心理学科のリフレクション入試(面接重視型)は、次のような手続きで行われます。

- インターネット出願サイトより、エントリー登録と書類を提出してください。
※エントリー方法・必要な書類は「リフレクション入試ガイド 2025」4ページ参照
- 面談では提出されたエントリー確認票とリフレクションシートをもとに、進学の目的や入学後の学修計画などについて一緒に考えたいと思います。あわせて、課題文作成のアドバイスをします。
- 課題文をもとに、試験で口頭試問およびグループディスカッションを行います。これらの詳細は以下に記します。

課題文について

まず下記の課題図書を手に入れてください。

筒井美紀(著) 大学選びより 100 倍大切なこと ジャパンマシニスト社 1200 円 + 税

※課題図書の入手方法については最終ページに記載されております。

続いて、次の 1) から 5) を行ってください。

1) Guidance 1 から Guidance 3 を、自分の身を振り返りながらよく読みます。

2) 現在あなたが「自分はできていない」と思った点が以下の①から⑤にありますか。「もうできている」と思った点がありますか。考えるヒントとなる課題図書のページ、箇所を挙げておきます。これらは大学生として期待される資質です。

- ① 自分ができないこと、わからないことを進んで発見し、克服する努力ができる。
(16 から 22 ページ、Guidance 3 全般)
- ② 「やりたい」と思う明確な目標がなくても、それを探す努力ができる。
(22 から 27 ページ、Guidance 3 全般)
- ③ 自力で問いを立て、その解答を探す努力ができる。その過程で壁にぶつかってもくじけない。
(27 から 41 ページ、52 から 59 ページ、Guidance 3 全般)
- ④ 知識の丸飲みにとどまらず、その知識について多面的に考えることができる。
(42 から 52 ページ、Guidance 3 全般)
- ⑤ 教師に与えてもらうことを当然と思わず、自分から学ぼうとする努力や工夫ができる。
(Guidance 2 全般、Guidance 3 全般)

3) 2) で、これについては「もうできている」と思った場合は、どうしてそう言えるのか、理由や根拠を考えなさい。他の人が「なるほど」と納得できないといけません。

4) 2) で、「自分はできていない」と思った点について、あなたが「どのようにしたら改善できるか」を考えて、改善の実行計画を立てなさい。合格したことを想定して、12月から3月の期間を利用して、その計画を実行すると考えなさい。実際に実行できるように、計画を具体的に立てることが望まれます。

5) 2) で、あなたが「もうできている」と思った点について、「できていない」人がいるかも知れません。その人は、どうしたらあなたのようにできるようになるでしょう。あなたのこれまでの努力や経験から考えなさい。

以上の取り組みをもとに課題文を作成します。次の二つの課題を書面で提出してください。用紙は課題ごとに分けてください。ワープロやプレゼンテーションソフト(パワーポイントなど)で文書を作成しても構いません。

[課題 1]

2) の①から⑤について、「もうできている」思った点があれば挙げなさい。そして、どうしてそう言えるのか、理由や根拠をまじえて、できていることを説得的に説明しなさい。他の人が読んで、「なるほど」と納得できないといけません。

「もうできている」点がない人は、この[課題 1]は「該当する点はない」と記してください。

文字数は問いませんが、**A4 版の用紙(片面のみ使用)**を使用してください(このホームページで指定した用紙(様式 10 号)を使用しなくても結構です)。言いたいことを的確に、簡潔に述べることを期待されます。

[課題 2]

4) で考えた「改善計画」を記しなさい。実際に実行できるように、具体的に立てることが望まれます。

文字数は問いませんが、**A4 版の用紙 2 枚分(片面のみ使用)**におさまるようにしてください(このホームページで指定した用紙(様式 10 号)を使用しなくても結構です)。図表、写真など文字以外を入れてもよろしい。レイアウトも工夫して結構です。あなたの考えていることが、他の人によくわかるよう心がけてください。

この二つの課題については作成した文書は、**必ずコピーを取って**手元に置いておき、**試験の時必ず持参**してください(口頭試問とグループディスカッション中に使用します)。

提出の際は、原本の方を提出してください。

口頭試問およびグループディスカッションについて

試験では、提出してもらった二つの課題をもとに、まず一人ひとりに口頭試問を実施します。そののち何人かのグループを作り、グループディスカッションを実施します。

口頭試問では、答えが明確には定まらない問題に対して筋道立てて考えて答えを導く力をみます。みなさんの答えが「正解」である必要はなく、むしろ思考の筋道や論理の組み立てが適切かを評価します。そして、うまく思考できることや、上手に解答できることなどは別に、そのような解答になったのはどういう理由かを〔課題1〕〔課題2〕で行った自己省察(自分の過去の学習を振り返り、これからの目標を検討する)を踏まえて、話していただきます。

グループディスカッションでは、課題文の〔課題1〕〔課題2〕をもとにして、全員で一つのベストな改善計画を協力して作り上げてもらいます。グループで話し合っ、グループ内の多くの人が「できていない」点(①から⑤のどれか)を一つ選びます。その点について、全員で一つのベストな改善計画を協力して作り上げてください。その点ができている人もいるかも知れませんが、その人は自分の努力や経験に基づくアドバイスをするとよいと思います(〔課題1〕が参考になると思います)。ベストな改善計画は、誰があてられても発表できるようにして下さい。

グループディスカッションの注意事項をいくつか挙げておきます

- **話し合いの時間は30分**しかありませんので、当日すぐに話し合えるように、万全の準備をしてきてください。たとえば、全員で話し合うべき「できていない」点をどうやって選んだらよいか、ベストな改善計画を生み出すためにどのように話し合いを進めていったらよいか、自分はどのような役割を果たしたらよいか(実際に果たせるか)などについて、よく考えておくとういでしょう。
- 課題図書「大学選びより100倍大切なこと」を持ち込んで、話し合い中参照しても結構です。話し合い中、メールやLINEなどによる通信、通話、インターネットによる資料検索、写真撮影などは禁止ですが、各自メモを取ること、立ち歩きはしても構いません。
- グループディスカッションにおいて、みなさんが評価される項目をあげますので、参考にしてください。

グループディスカッションでみなさんを評価するポイント

1. 話し合い中の役割について

みなさんが果たすべき役割として、次のようなものを期待しています。どのような役割を、どの程度果たせたかを評価します。どれかに徹底してもよいし、多様な役割を果たしてもよいですが、グループ全体として全ての役割が現れることを期待します。

皆が安心できる集団づくりに貢献する役割

励まし役	他人の発言や行動を肯定する言動を行ない、集団の活動を活発にしようとする
行き詰まり打破	対立や行き詰まりが生じた時、打開策や妥協案を出したり、 逆にそれらの案を他人が出せるよう働きかけることができる
対立の緩和	集団内の対立、衝突をやわらげたり、未然に防ごうとする
会議進行法のチェック	話し合いのやり方が、適切か、皆が納得できるか、 別のやり方がないかを確認しようとする
交通整理	みんなが発言、参加できるように、メンバーに促しや抑制をすることができる
気分の見える化	メンバーの感情や漂う雰囲気を言葉にまとめ、全員で共有しようとする たとえば、「意見が出にくい雰囲気になっている」「焦らず行こう」などの声かけ

生産的な集団づくりに貢献する役割

イノベーター	目標達成に向けたアイデアや行動を、率先して行なうことができる
--------	--------------------------------

まとめ役 積極的なフォロワー	それまでの話し合いや発言を要約して、その後の話し合いをやりやすくする イノベーターに続いて、目標達成に向けた追加意見を出したり、 行動を積極的に起こす
合意確認	それまでの話し合いや発言について、 メンバー全体に「これでいい?」と合意を確認する
意見の求め役	目標達成に向けたアイデアや行動が必要な時、 他人を促して意見を求めることができる
反論者	目標達成に鑑みて「間違っている」「ずれている」と思った意見や行動に対して、 よい結論を導こうとする態度をともなわせ、勇気を出して指摘、反論することができる
深め役	発言内容の曖昧な点、疑問が残る点を明確にし、よりよい話し合いを促す

2. 集団の活動を阻害しない

集団が目標を達成する(今回ならば「ベストな改善計画の提出」)ことに対して、マイナスに作用するようなことをしない。

容赦ない否定、非難をしない	相手の言い分を聞くことなく、相手の発言や態度、行動を 頭から否定したり、非難したりしない (優柔不断や八方美人であることを勧めているわけではありません)
課題の準備不足がない	集団の目標達成を阻害するような準備不足がなく、 課題に十分取り組んできたことが話し合いの中でうかがわれる
話し合いへの準備不足がない	集団での話し合いが円滑に行くよう、無駄な時間ができることのない よう、話し合いの仕方、進め方に対して十分な準備をしてきたことが話し合い の中でうかがわれる

3. 個人の資質について

話し合いの内容や活動の様子からうかがい知れる、個々人の能力を次のような点で評価します。

主体的である	みずから進んで役割を果たしたり、発言、提案を行なったりしている
協動的である	他の人の能力や特性、動きに合わせながら、共に目標に至ろうとしている
論理的である	他の人に力を貸したり、励ましたりしながら、共に目標に至ろうとしている 発言や提案、意見が他人を納得させるだけの根拠、理由に支えられている 思いつきでなく、計画的に話し合いを進めようとしている

課題図書「大学選びより 100 倍大切なこと」(ジャパンマシニスト社)
の入手方法につきまして

出版社品切れ中につき、書店から新本を購入することが難しい状況です。下記のような方法をおとりください。ご面倒をおかけします。

1. 図書館で借りる

2. Amazon など古書販売店で中古品を購入する

価格や品質は出品業者によって異なります。販売価格が定価を超える場合もありますので、ご注意ください。

3. 出版社(ジャパンマシニスト社)から直接購入する

フリーダイヤル、FAX、電子メールのいずれかで、出版社に「送り先の住所」と「購入者氏名」をお伝えください。出版社から、課題図書のコピー(見開き 2 ページを複写したもの)を印刷したものが郵送されます。価格は図書の定価プラス送料 180 円程度となる見込みです。コピーとともに振り込み方法の指定が出版社から送られてきますので、ご対応ください。

ジャパンマシニスト社

フリーダイヤル 0120-965-344

FAX 0287-74-3483

電子メール info@japama.jp